

# 茜町春彦

WEB 絵本  
女中奉公  
金子文子  
が 18 巻



# 目次

|               |    |
|---------------|----|
| 扉 . . . . .   | 1  |
| 絵 1 . . . . . | 2  |
| 絵 2 . . . . . | 4  |
| 絵 3 . . . . . | 5  |
| 絵 4 . . . . . | 7  |
| 絵 5 . . . . . | 9  |
| 絵 6 . . . . . | 11 |
| 後書き . . . . . | 13 |





扉

WEB絵本『女中奉公（金子文子）』第18巻

絵・訳：茜町春彦

原作：金子文子

Title: A Housemaid (Kaneko Fumiko) volume 18

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko

Original author: Kaneko Fumiko

## 絵 1



A02Fu218img01.jpg

11月30日、忘れもしない、その日の晩だった。  
しばらく顔を見せなかった伊藤が、ひょっくりやって来た。

が、いつもに似ず、伊藤の顔色がわるく元気もなかった。  
どうしたのだろうと心配しながら、私は急いで家の用をすました。

そしていつものようにまた、主家に断って送って行った。

I never forget it. It is the evening of November 30.  
Mr. Ito hadn't shown himself for a while. But he suddenly appeared.

He was pale and was looking down unusually. I was worried about him. And then, I

hurriedly finished my duty work of the house. As usual, I asked for the house lord's permission and we went out.

## 絵 2



A02Fu218img02.jpg

7、8町も歩く間、伊藤は黙っていた。  
ただ、私の話すことに応答するばかりであった。

We walked for 7 or 8 yards.  
Nodding silently, he just listened to me.



### 絵 3



A02Fu218img03A.jpg

が、そのうちふと、あまり人通りのない暗い所に来ついた時、伊藤はひょいと立ち止まって、「金子さん、僕は懺悔しなけりやならない」としんみりとした口調で話し始めた。

「僕はあなたを見違えていました。というのは、僕は実は、あなたを不良少女だと思っていたのです。ところが、近頃やっとわかりました。あなたは本当の愛の人だと言うことをです。僕は小隊長とも永らくつき合いましたが、その他にもかなりたくさんの女の信者仲間をもっています。けれどあなたのように、温かいやさしい女らしい気持ちをもった人は初めてです。僕はあなたの前に自分の不明を謝します」

Suddenly we got to a dark place. Few people were coming and going.

Unexpectedly Mr. Ito stopped.

“I must confess myself to you,” he started to say in quiet voice, “I could hardly recognize you. To tell the truth, I thought you to be a bad girl. But now, I see. You are a person with true love. The element leader is an old friend of mine. Besides, I know a lot of woman believers. But I have never met a warm-hearted woman like you. I say sorry for my ignorance.”

## 絵 4



A02Fu218img04A.jpg

この言葉は私を吃驚させた。  
私はそう言っている伊藤の顔を見た。  
伊藤は真剣な顔をしていた。

だから、無論彼は嘘を言っているはずはなかった。

不良少女！ その言葉をきいたとき、私は鋭い針でちくりとさされた気持がした。  
が、すぐその後で言った「初めて見た温かい女」という言葉には何とも言えぬ恥ずかし  
さを感じた。  
嬉しいような悲しいような、妙な気持であった。

His words shocked me.

I looked at his face while he was speaking to me. His face was serious itself. Needless to say, he couldn't possibly tell a lie.

A bad girl! When I heard the word, I felt a slight pain as if a sharp needle pricked me.

Just after he said the word, he also said A Warm-hearted Woman. It brought shame beyond words on me. I had a feeling of happiness and sadness. That was strange.



## 絵 5



A02Fu218img05.jpg

私は黙って話をきいた。  
私は何も言わなかった。

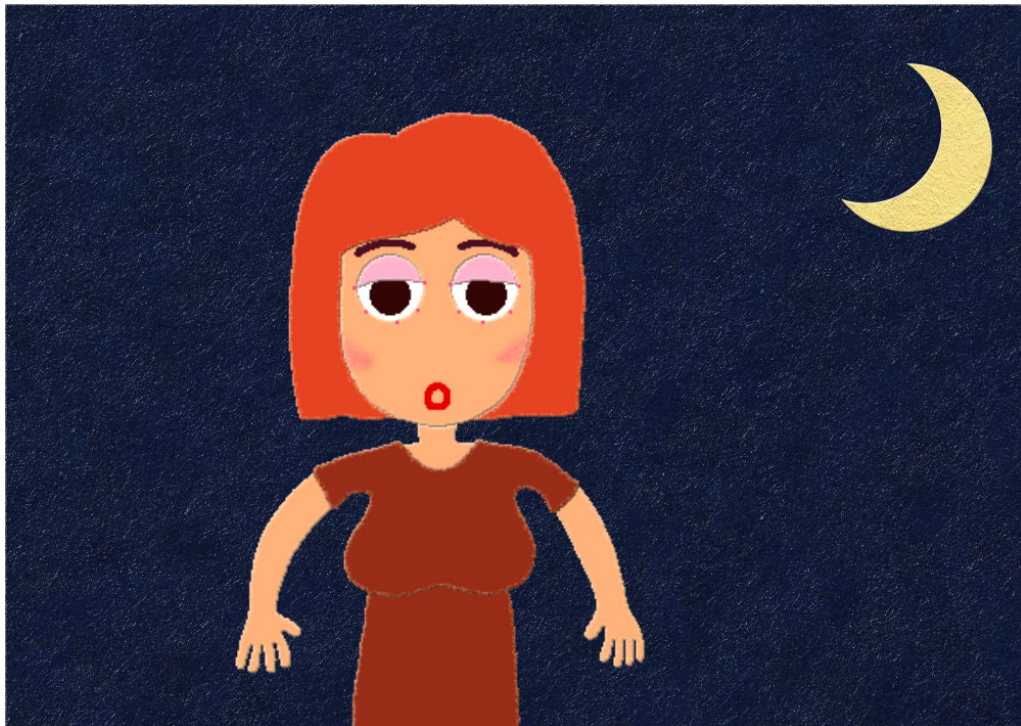
が、ふと気が付いて見ると、今はもう雷門も過ぎて菊屋橋まで来ていた。  
しかも私は、停留所の柱時計が11時をすぎているし、あたりの店もそろそろ片づけ始  
めているのを見た。

I was quietly listening to him. I kept silent.

I suddenly realized we had passed Kaminarimon Gate and got to Kikuyabashi Bridge.

Besides, the wall clock at a train stop showed that it was past 11 o'clock.  
I noticed that the shops around there started to close.

## 絵 6



A02Fu218img06.jpg

私は驚いて立ち止まった。

「もう 11 時すぎですわ。この辺でおわかれしましょう」

「そうですねえ、大分遅くなりましたねえ」と伊藤はしかし落ち着いた調子で言った。

そしていつもは自分から帰れ帰れと言うのに、今日に限ってなかなか別れようとはしなかった。

「実は僕はもう少し話したいことがあるんです。上野のあたりまで歩きませんか。帰りは電車に乗ることにして」

「ええ。じゃ、もっと歩きましょう」と私の心の奥にあるものが、私の理性を押しつけて咄嗟の間に答えてしまった。

I stopped in astonishment.

“It’s past eleven. I have to say goodbye.”

“Certainly. It’s getting late,” Mr. Ito said calmly.

He always said “Go home! Go home!” But, that day, he tried not to say goodbye.

“Actually, I want to talk a little more with you. Shall we walk to Ueno area? Anyway, you will go back by train.”

“Sure, well. Let’s walk!” I answered instantly.

Something in the bottom of my heart pushed my reason aside.

(続く)



## 後書き

### 参考文献：

何が私をこうさせたかー獄中手記（金子文子著 岩波文庫 2017年12月15日第1刷発行）

### C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました．

ArtRage 5 アンビエント社

Photoshop Elements 2020 アドビシステムズ株式会社

### 著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します．

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです．独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行っております．また、下記 WEB サイトに於いても、デジタル作品を公開しております．

ピクシブ カクヨム エブリスタ はてなブログ 楽天 Kobo 電子書籍ストア Face-book ページ YouTube BOOTH

### その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です．

本書は著作権法により保護されています．

2021年11月19日発行

---

WEB絵本『女中奉公（金子文子）』第18巻

---

著 茜町春彦

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---